

印西市公共施設
景観形成ガイドライン

令和2年4月1日

印西市
都市計画課

目 次

1.	ガイドラインの位置づけ	1
2.	公共施設の整備・管理等の考え方	1
3.	ガイドラインの対象施設	1
■	対象公共施設	1
■	適用の除外	2
4.	手続きについて	2
■	協議・通知対象行為	3
5.	手続きのフロー	4
●	様式書類	5
●	関係図書一覧	14
6.	参考・活用すべきガイドライン	15
●	ガイドラインチェックシート	16
7.	景観形成指針	22
■	施設別のガイドライン	22
■	共通要素別のガイドライン	24

1. ガイドラインの位置づけ

「印西市公共施設景観形成ガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）は、平成30年10月に施行された印西市景観計画に基づき、景観計画第2章に定める景観形成の基本目標・基本方針を踏まえ、これらの実現に向けた公共施設の整備・管理等を推進していきます。また、地域の景観まちづくりを先導していくうえで重要な要因となる道路・公園・河川等の公共施設の整備・管理等において、景観形成の考え方や施設別の配慮事項などをまとめたものとなります。

2. 公共施設の整備・管理等の考え方

道路や公園、河川等の公共施設の整備・管理等にあたっては、機能性や安全性を確保するとともに、デザインの質的向上を図り、地域の景観まちづくりを先導していく役割が求められます。

そのためにも、公共施設の整備・管理等においては、景観計画の景観形成基本目標である「みんなでつくる「自然」と「都市」がふれあう美しいまち いんざい〜水・里山・歴史につつまれ 美しくすみ続けたいまちへ〜」の実現を目指します。

3. ガイドラインの対象施設

本ガイドラインは、国の機関又は地方公共団体が公共施設の整備・管理等を行う際に、参考・活用するものとし、対象となる公共施設は以下のとおりです。

■ 対象公共施設

- ① 道路
- ② 橋梁等
- ③ 公園・緑地
- ④ 河川
- ⑤ 建築物・工作物

■ 適用の除外

次に掲げるものについては、本ガイドラインの適用を除外しますが、可能な範囲で景観への配慮をお願いします。

- 災害復旧事業などの緊急を要するもの
- 通常の実務行為
- 建築基準法第85条の許可等を受けたもの
- 地下に設ける建築物又は工作物
- その他市長が認めるもの

4. 手続きについて

国の機関又は地方公共団体の行う行為のうち、印西市景観計画に定める届出対象規模に該当する建築物・工作物については、協議書（別紙4）に別表の関係図書を添付し、協議を行ってください。協議書は、設計変更が可能な時期に、印西市都市計画課へ提出してください。

市は、協議回答書（別紙5）により、協議の回答を行います。市からの協議回答書に指摘事項がある場合は、協議報告書（別紙6）に措置内容を記載の上、報告してください。

協議完了後、景観法第16条第5項の規定に基づく通知が必要となりますので、景観計画区域内行為通知書（別紙1）により、行為着手の30日前までに通知を行ってください。また、通知内容に変更がある場合には、景観計画区域内行為変更通知書（別紙2）に変更に係る図書を添付し、通知してください。

行為が完了・中止した際は、景観計画区域内行為完了等報告書（別紙7）を提出してください。

なお、通知の対象となる建築物・工作物以外の道路、橋梁等、公園・緑地、河川の整備・管理等を行う際にも、本ガイドラインのほか、景観アドバイザー制度も活用することができますので、事前相談を行ってください。

公共施設の整備・管理等に当たっては、本ガイドラインに定める指針を踏まえ、景観づくりを先導するための継続的な整備・管理等が行われるように、本ガイドラインのチェックシートを活用してください。

■ 協議・通知対象行為

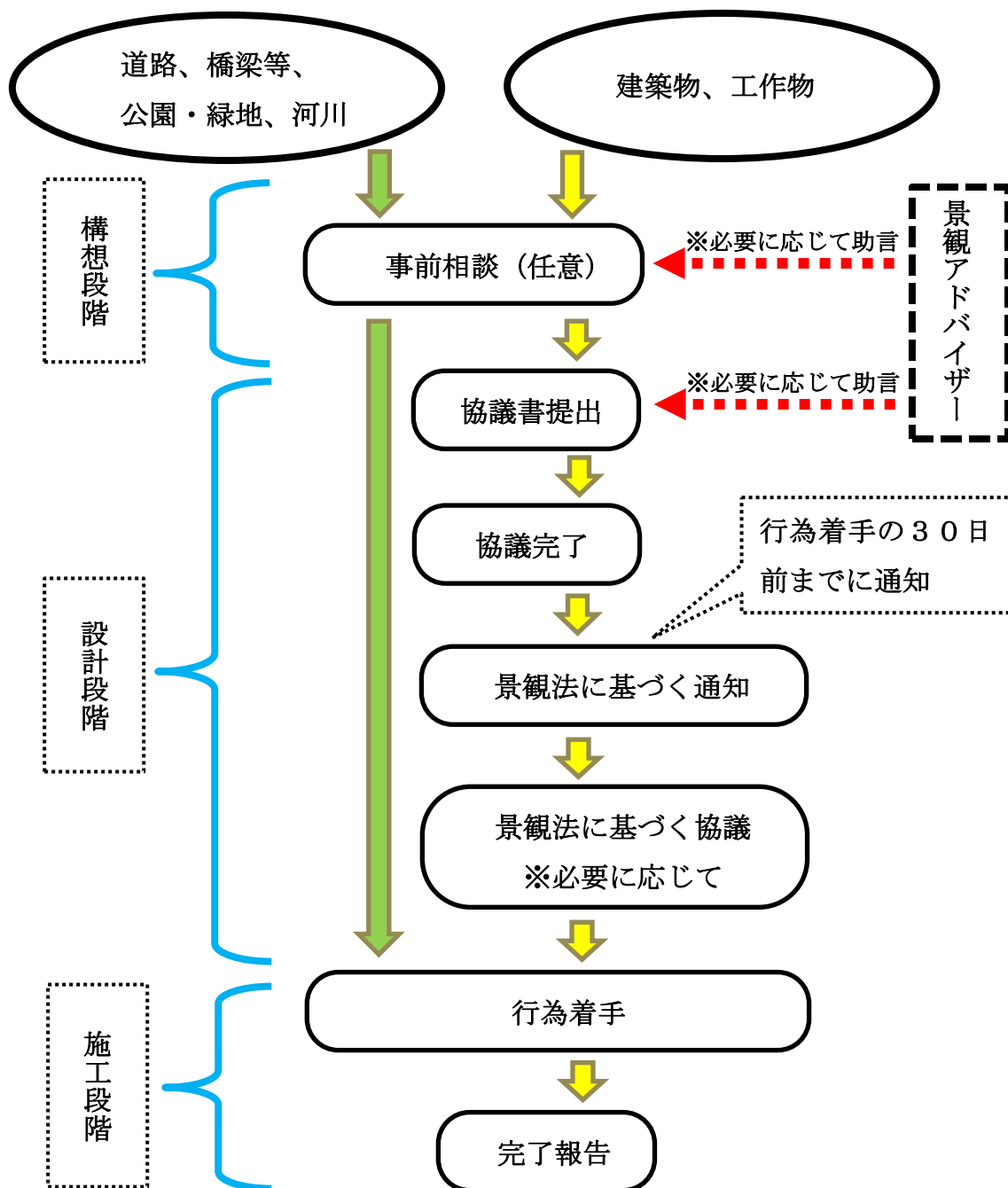
協議・通知対象行為	協議・通知対象規模		
	一般地区	国道464号沿道地区	
建築物の建築等 建築物の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	高さ13mを超えるもの 又は延べ面積500㎡以上のもの	戸建住宅を除くすべてのもの	
工作物の建設等 工作物の新設、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更(※1)	●煙突、鉄筋コンクリート造の柱、鉄柱、木柱その他これらに類するもの(※2) ●広告塔、広告板、装飾塔、記念塔その他これらに類するもの ●高架水槽、サイロ、物見塔その他これらに類するもの ●遊戯施設、製造施設、貯蔵施設、処理施設、自動車車庫(建築物であるものを除く)その他これらに類するもの	高さ10mを超えるもの 又は築造面積250㎡以上のもの	
	擁壁、塀、柵その他これらに類するもの	高さ2mを超えるもの かつ長さ30mを超えるもの	高さ2mを超えるもの かつ長さ30mを超えるもの
	太陽光発電施設(※3)	区域面積500㎡以上のもの	区域面積500㎡以上のもの

※1 鉄道の線路敷地内の運転保安に関するものを除く。

※2 電気供給又は有線電気通信のための線路その他これらに類するもの(これらの支持物を含む)を除く。

※3 同一敷地若しくは一団の土地等に太陽光発電設備等を設置するものであって、建築物の屋上等に設置するものを除く。

5. 手続きのフロー



景観計画区域内行為通知書

年 月 日

印西市長 様

住所

通知者 氏名 ㊟

電話番号

(法人にあっては主たる事務所の所
在地及び名称並びに代表者の氏名)

景観法第16条第5項の規定により、関係図書を添えて次のとおり通知します。

行為の種類	<input type="checkbox"/> 建築物	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更
	<input type="checkbox"/> 工作物	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更
行為の場所	印西市	
施設の名称		
区域の区分	<input type="checkbox"/> 一般地区 <input type="checkbox"/> 国道464号沿道地区	
設計又は設計方法	<input type="checkbox"/> 協議書に添付した関係図書のとおり <input type="checkbox"/> 別添関係図書のとおり	
行為の期間	着手予定日	年 月 日から
	完了予定日	年 月 日まで
設計者の住所及び氏名	住所	
	氏名	電話番号
工事施工者の住所及び氏名	住所	
	氏名	電話番号

設計 又は 施行 方法	建築物	区分	届出部分	既存部分	合計	
		敷地面積	m ²	m ²	m ²	
		建築面積	m ²	m ²	m ²	
		延べ面積	m ²	m ²	m ²	
		主要用途			高さ	m
		階数	地上階、地下階		構造	
		屋根	仕上げ		色彩	
		外壁	仕上げ		色彩	
	工作物	種類			高さ	m
		延長	m		構造	
		外観	仕上げ		色彩	

別紙2

景観計画区域内行為変更通知書

年 月 日

印西市長 様

住所

通知者 氏名 ㊟

電話番号

(法人にあつては主たる事務所の所
在地及び名称並びに代表者の氏名)

年 月 日付けで通知した景観計画区域内における行為の変更について、関係図書を添えて次のとおり通知します。

受 付 番 号	第 号
変 更 事 項	
変 更 の 理 由	
行 為 の 期 間	着手予定日 年 月 日から 完了予定日 年 月 日まで

※関係図書には、当初通知に添付した図書のうち、変更に係る図書を添付してください。

別紙3

第 号
平成 年 月 日

様

印西市長



景観法第16条第5項の規定による通知について

年 月 日付けで通知のあった景観計画区域内における下記の行為については、景観計画に定められた当該行為についての制限に適合していますので、通知します。

記

- 1 受付番号 第 号
- 2 受付年月日 年 月 日
- 3 行為の種類
- 4 行為の場所

別紙4

協議書

年 月 日

印西市長 様

住所

申出者 氏名 ㊟

電話番号

(法人にあっては主たる事務所の所
在地及び名称並びに代表者の氏名)

景観計画区域内において予定する行為について、関係図書を添えて次のとおり協議します。

行為の種類	<input type="checkbox"/> 建築物	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更
	<input type="checkbox"/> 工作物	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更
行為の場所	印西市	
施設名称		
区域の区分	<input type="checkbox"/> 一般地区 <input type="checkbox"/> 国道464号沿道地区	
行為の期間	着手予定日	年 月 日から
	完了予定日	年 月 日まで
設計者の住所及び氏名	住所 氏名	電話番号
工事施工者の住所及び氏名	住所 氏名	電話番号

設計 又は 施行 方法	建築物	区分	届出部分	既存部分	合計	
		敷地面積	m ²	m ²	m ²	
		建築面積	m ²	m ²	m ²	
		延べ面積	m ²	m ²	m ²	
		主要用途			高さ	m
		階数	地上階、地下階		構造	
		屋根	仕上げ		色彩	
		外壁	仕上げ		色彩	
	工作物	種類			高さ	m
		延長	m		構造	
		外観	仕上げ		色彩	

第 号
平成 年 月 日

様

印西市長



協議回答書

年 月 日付で協議のあった景観計画区域内における行為について、下記のとおり回答します。

記

- 1 受付番号 第 号
- 2 受付年月日 年 月 日
- 3 行為の種類
- 4 行為の場所
- 5 指摘事項

協議報告書

年 月 日

印西市長 様

住所

報告者 氏名 ㊟

電話番号

(法人にあっては主たる事務所の所
在地及び名称並びに代表者の氏名)

年 月 日付けで協議回答のあった景観計画区域内における行為について、次のとおり報告します。

受付番号	第 号	
行為の種類		
行為の場所	印西市	
施設名称		
	指摘事項	措置内容

景観計画区域内行為完了等報告書

年 月 日

印西市長 様

住所

報告者 氏名 ㊟

電話番号

(法人にあっては主たる事務所の所
在地及び名称並びに代表者の氏名)

年 月 日付けで通知・協議した景観計画区域内における行為
を完了・中止したので、次のとおり報告します。

受付番号	第 号
中止の理由	
完了又は 中止年月日	年 月 日

※関係図書として、行為が完了した後の状況を示す写真、撮影位置・方向を示した図面を添付してください。

別表（関係図書一覧）

	行為	図書	明示すべき事項
関係図書	建築物の建築等又は工作物の建設等	位置図（縮尺1/2,500以上）	方位、道路、目標となる地物及び行為の対象となる建築物又は工作物の敷地の位置
		現況写真（2方向以上のカラー写真）	行為の場所（近景）及び周辺の状況（遠景）を表すもの
	配置図（縮尺1/1,000以上）	<ol style="list-style-type: none"> 1 縮尺、方位、敷地の形状及び寸法並びに敷地境界線 2 行為の対象となる建築物又は工作物の位置 3 行為の対象となる建築物又は工作物の敷地及び隣接する建築物又は工作物の敷地に接する道路の位置及び幅員 4 植栽樹木等の位置、樹種、樹高及び本数 5 擁壁、かき、柵、塀、ごみ置き場等の高さ、長さ、材料 	
	2面以上の立面図（縮尺1/500以上）	<ol style="list-style-type: none"> 1 縮尺、開口部の位置、構造及び主要部分の材料の種別 2 外壁・屋根等の仕上げの方法及びマンセル値（工業標準化法（昭和24年法律第185号様式）に基づく日本工業規格Z8721に定める色相、明度及び彩度の3属性の値をいう。以下同じ。）表示による色彩並びに着色する部分の寸法、面積及び見付面積（建築物の外壁及び屋根又は工作物の外装の一面における垂直及び水平投影面積をいう。以下同じ。）における割合 	
	その他市長が必要と認める図書	市長が必要と認める事項	

6. 参考・活用すべきガイドライン

本ガイドラインに記載の無い具体的・技術的な事項については、国及び県の定める景観形成指針等に沿うものとします。

《県》

- 千葉県公共事業景観形成指針（平成21年3月）
- 公共事業における景観色彩計画ヒント集（平成29年3月）

《国》

道路、橋梁等

- 景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン（平成16年：国交省）
- 道路デザイン指針（案）（平成17年：国交省）
- 景観形成ガイドライン「都市整備に関する事業」（平成23年：国交省）

公園

- 景観形成ガイドライン「都市整備に関する事業」（平成23年：国交省）

河川

- 歴史的砂防施設の保存活用ガイドライン（平成15年：国交省・文化庁）
- 河川の景観形成に資する石積み構造物の整備に関する資料（平成18年：国交省）
- 河川景観ガイドライン「河川景観の形成と保全の考え方」（平成18年：国交省）
- 多自然川づくり基本方針（平成18年：国交省）
- 砂防関係事業における景観形成ガイドライン（平成19年：国交省）
- 景観形成ガイドライン「都市整備に関する事業」（平成23年：国交省）

建築物等

- 官庁営繕事業における景観形成ガイドライン（平成16年：国交省）
- 住宅・建築物等整備事業に係る景観形成ガイドライン（平成17年：国交省）
- 景観形成ガイドライン「都市整備に関する事業」（平成23年：国交省）

照明

- 光害対策ガイドライン（平成18年：環境省）

ガイドラインチェックシート（共通事項）

基本 事項	記入年月日	年 月 日		
	機関名 ※事務所名等		所属部署 ※課・室・班名等	
	連絡先			

事 業 情 報	施設の種類	<input type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 橋梁等 <input type="checkbox"/> 公園・緑地 河川 <input type="checkbox"/> 建築物 <input type="checkbox"/> 工作物		
	施設名称			
	事業名			
	事業箇所	印西市		
	工期（予定）	年 月 日～ 年 月 日		
	事業概要			
	その他特記事項			

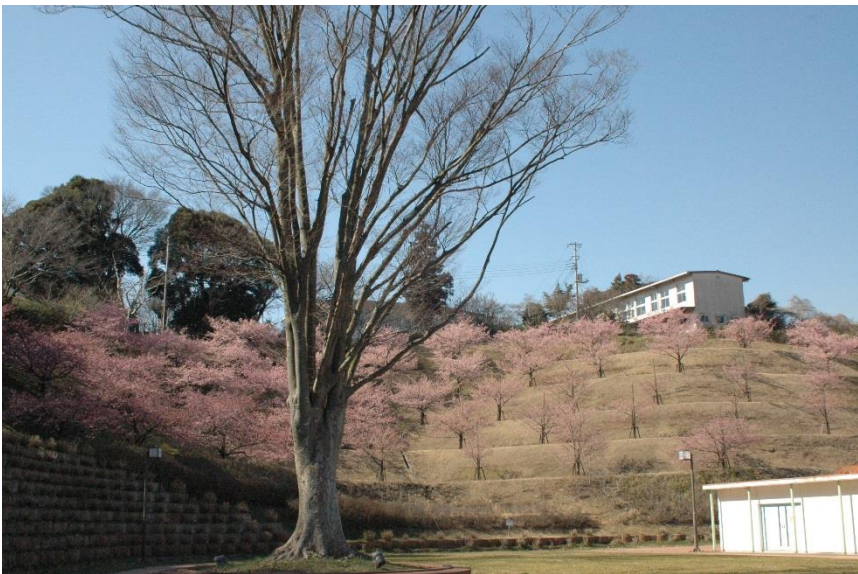
地 域 情 報	区域の区分	<input type="checkbox"/> 一般地区 <input type="checkbox"/> 国道464号沿道地区		
	景観法に基づく指 定等の有無	<input type="checkbox"/> 景観重要建造物 (名称：)	<input type="checkbox"/> 事業区域内	<input type="checkbox"/> 近傍
		<input type="checkbox"/> 景観重要樹木 (名称：)	<input type="checkbox"/> 事業区域内	<input type="checkbox"/> 近傍
		<input type="checkbox"/> 景観協定 (名称：)	<input type="checkbox"/> 事業区域内	<input type="checkbox"/> 隣接
		<input type="checkbox"/> 景観重要公共施設 (名称：)	<input type="checkbox"/> 指定済み	<input type="checkbox"/> 検討中
景観法第16条第 5項に基づく通知	<input type="checkbox"/> 必要（建築物・工作物） <input type="checkbox"/> 不要（道路、橋梁等、公園・緑地、河川）			
	その他特に配慮す べき景観特性	<input type="checkbox"/> 景観資源が近傍にある。 <input type="checkbox"/> 視点場（眺望ポイント）が近傍にある。 <input type="checkbox"/> その他 (チェック項目についての名称等記入)		

ガイドラインチェックシート（河川）

共通事項	<input type="checkbox"/> 公共施設が様々な視点から眺められることなどを勘案し、視点場（見る位置）と視対象（見られる対象）との関係を考慮した景観形成に努めている。
	<input type="checkbox"/> 施行中の景観についても、地域の景観を構成する一部として、周辺景観への配慮に努めている。
景観施設配慮事項	活用したガイドライン
	<input type="checkbox"/> 千葉県公共事業景観形成指針 <input type="checkbox"/> 河川景観ガイドライン「河川景観の形成と保全の考え方」 <input type="checkbox"/> 多自然川づくり基本方針 <input type="checkbox"/> 河川の景観形成に資する石積み構造物の整備に関する資料 <input type="checkbox"/> その他（名称： ）
	施設別景観配慮事項
	<input type="checkbox"/> 河川・水路は、地域の優れた景観資源であることを踏まえ、水と緑を基調とした美しい河川景観の形成や魅力の向上に資するよう、河川等や周辺地域が持つ特性を考慮して、長期的視点から整備又は管理に努めている。【河川景観ガイドライン「河川景観の形成と保全の考え方」】
	(具体的措置)
	<input type="checkbox"/> 堤防、護岸、床止め、水門等、河川・水路の管理施設の配置、規模、材料又は色彩等については、周辺の景観との調和に配慮している。【千葉県公共事業景観形成指針p9】
	(具体的措置)
	<input type="checkbox"/> 浸水利用を考慮した施設については、周辺の景観との調和に配慮するとともに、利用形態に応じたデザインや効果的な植栽の配置等により、魅力ある水辺空間の維持・形成に努めている。【河川景観ガイドライン「河川景観の形成と保全の考え方」】
	(具体的措置)
その他配慮事項	
特記事項	(特に配慮又は工夫した内容がある場合は記入してください。)
管理に関する事項	<input type="checkbox"/> 施設等の最終管理者と調整済み (管理者名称：)
	(調整内容、その他注意点について記入してください。)

ガイドラインチェックシート（建築物等）

景 観 配 慮 事 項	共通事項	<input type="checkbox"/> 公共施設が様々な視点から眺められることなどを勘案し、視点場（見る位置）と視対象（見られる対象）との関係を考慮した景観形成に努めている。
		<input type="checkbox"/> 施行中の景観についても、地域の景観を構成する一部として、周辺景観への配慮に努めている。
		活用したガイドライン
		<input type="checkbox"/> 千葉県公共事業景観形成指針 <input type="checkbox"/> 官庁営繕事業における景観形成ガイドライン <input type="checkbox"/> 住宅・建築物等整備事業に係る景観形成ガイドライン <input type="checkbox"/> その他（名称：_____）
		施設別景観配慮事項
	施設	<input type="checkbox"/> 建築物等の配置、規模、形状、材料又は色彩等については、周辺の景観との調和に配慮している。【千葉県公共事業景観形成指針 p9】 (具体的措置)
	別	<input type="checkbox"/> 外壁や屋根などは、汚れが目立たず、時間の経過とともに味わいの増す素材等を用いるよう努めている。【住宅・建築物等整備事業に係る景観形成ガイドライン】 (具体的措置)
	事項	<input type="checkbox"/> 建築物等の敷地について、積極的な緑化やオープンスペースのデザイン等、潤いのある景観の形成や空間の演出などに努めている。【住宅・建築物等整備事業に係る景観形成ガイドライン】 (具体的措置)
		その他配慮事項
	特記事項	(特に配慮又は工夫した内容がある場合は記入してください。)
	管理に 関する事項	
		(調整内容、その他注意点について記入してください。)



7. 景観形成指針

■ 施設別のガイドライン

• 道路

道路は、道路景観軸として都市の骨格を成すもので、多くの市民や来訪者が行き交い、多くの民間施設に接する公共施設である。それぞれの施設のコンセプトのもと、道路景観軸の景観連鎖を促進する全体の景観視点と、まち並みの連続性と魅力づくりを促進する個別の景観視点に立って、品格や賑わいのある良好な景観の形成を図ります。

また、市街地から自然豊かな周辺地域を結ぶ多種多様な景観に接する公共施設であることを踏まえ、機能性と安全性を確保しつつ、周辺の自然環境や景観資源になじむよう配慮します。

• 橋梁等

橋梁等は、道路景観軸の中にあって、景観上のアクセントであり、河川景観を望む視点場となる重要な公共施設である。また、年月の経過とともに地域のシンボルとなることもあります。このため、橋梁上のたまり場やオープンスペース、夜間照明等の工夫により、地域のシンボルとして良好な景観の形成を図ります。

また、道路と河川との調和に配慮するとともに、地域の特性や橋梁の性格になじんだデザインとなるよう配慮します。なお、橋梁の裏側が見えるものについては、繁雑な印象とならないよう配慮します。

歩道橋等も、形状及び色彩について、圧迫感や威圧感を与えないよう配慮するとともに、周辺の景観との調和に努めます。

• 公園・緑地

公園・緑地は緑の景観拠点として意識され、やすらぎを与える緑の景観にふれあえる空間であり、憩いや活動、行き交う空間として多くの市民に利用されている施設である。それぞれの施設の整備コンセプトのもと、緑とまち並みの景観連鎖を促進する全体の景観視点と、緑の潤いや落ち着き、親しみ等を促進する個別の景観視点に立って、良好な景観の形成を図ります。

また、公園・緑地は、シンボルとなるような歴史的・文化的景観資源や地域住民による緑化、維持管理、清掃などの拠点など、様々な形で存在していることを踏まえ、設置場所の地形や既存の緑を活かし、緑の連続性を作り出すよう配慮します。

- 河川

河川は、水辺景観軸として水辺の骨格を成すもので、潤いや親しみを感じ、多種多様な生物にふれあえる空間であり、多くの市民に親しまれている施設である。それぞれの施設の整備コンセプトのもと、水と緑とまち並みの景観連鎖を促進する全体の景観視点と、周辺環境への配慮や潤いづくり等を促進する個別の景観視点に立って、良好な景観の形成を図ります。

河川は、潤いのある水辺景観を提供する要素であり、治水や利水などの面からも古くから地域の住民と深い関わりを持ってきたことを踏まえ、地域の安全な暮らしを確保できる機能を持たせたうえで、水辺景観に親しむことのできる場所として、市民にとって親しみ深い空間となるよう配慮します。

- 建築物等

公共建築物は、小・中・高等学校の校舎や市役所・公民館など地域のランドマークとなるような施設であり、多くの市民が利用し活動する施設である。それぞれの施設の整備コンセプトのもと、施設と周辺環境とまち並みの景観連鎖を促進する全体の景観視点と、周辺の環境や地域の特性に配慮し、調和と愛着を生み出すことを促進する個別の景観視点に立って、良好な景観の形成を図ります。

また、公共建築物は、地域の拠点ともなり得るものであることを踏まえ、それぞれの施設の設置目的に即しつつ、周辺の地形やまち並みに合った外観デザインとなるよう努め、市民が親しみを感じるような、開放的なデザインや温かみのある素材の活用を検討し、利用しやすい施設となるよう配慮します。さらに、ライフサイクルコストを考慮に入れ、適切な維持管理を行うことができるよう計画するとともに、色彩、緑化、セットバック等を検討し、地域の景観づくりを先導するものとします。

- 照明

照明施設は、道路や歩道空間、公共建築物等において、夜間の景観を作り出す基礎となる施設であることを踏まえ、安全性を確保しつつ、周辺施設の照明の状況も考慮し、全体の景観視点に立って、過剰な照明とならないように注意する。また、個別の景観視点に立ち、夜間の賑わいがある場所などでは、省エネ等を考慮したうえで、ライトアップやイルミネーションを行い、夜間の景観づくりに配慮する。

■ 共通要素別のガイドライン

• 建築物

高 さ ・ 規 模	方針	屋根や軒、階、最上部の高さは周辺に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 地域の景観を特徴づけている要素（敷地周辺の樹木・樹林、歴史的景観資源等）への眺めを阻害しない配置・規模とする。 <input type="checkbox"/> 国道464号からの見え方に配慮した配置・規模とするとともに、地域の景観を特徴づけている要素（印旛沼、敷地周辺の樹木・樹林、歴史的資源等）への眺めを阻害しない配置・規模とする。 <input type="checkbox"/> 地形を大きく改変することを避けるとともに、長大な擁壁や法面が生じない造成等により、周辺と調和する配置・規模とする。 <input type="checkbox"/> 歩行者の通行が多い道路の沿道では、道路から後退した位置への配置等により、歩行者にゆとりを与える空間の確保を図る。 <input type="checkbox"/> 国道464号の歩道側の道路（予定地を含む）境界から、建築物の外壁又はこれに代わる柱の面までの後退距離は5m以上とする。 <input type="checkbox"/> 周辺の建築物とのスカイラインの連続性と調和を図る。 <input type="checkbox"/> 1及び2階の階高は、周辺の建築物と可能な限り調和させる。
	方針	周辺の建築物の規模に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 平面を雁行や長方形、L字型等にし、圧迫感を与えないように配慮する。 <input type="checkbox"/> 低層部より高層部を小さくする工夫を図る。 <input type="checkbox"/> 棟を分けることにより、圧迫感を与えないように配慮する。

外壁	方針	圧迫感のある壁面を避け、周辺の景観との調和に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 壁面の分節・分割や位置の後退等により、圧迫感を与えないように配慮する。 <input type="checkbox"/> 道路・水辺・公園等に面する壁面は開口を確保し、透明ガラス等を活用する。
	方針	金属やガラス等の壁面は、周辺への反射防止に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 歩行者の通行が多い道路に面する部分は、低層部における自然素材の活用や窓・出入口等の開口部の配置の工夫等により、うるおいや賑わいが感じられるように配慮する。 <input type="checkbox"/> 外壁の素材は、汚れや退色に強いものとし、壁面の大部分にわたって光沢のある素材や反射性の高い素材の使用を避ける。

屋根・屋上	方針	突出した形態意匠を避け、周辺との調和に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 屋根の形態意匠は奇抜なデザインを避け、周辺と調和するようにする。 <input type="checkbox"/> 屋上設備・屋外階段等は、雑然とした印象を与えないよう、配置の工夫やルーバー等による遮蔽、形態意匠、色彩の工夫等によって、建築物本体との調和を図るものとする。
	方針	金属やガラス等の壁面は、周辺への反射防止に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 歩行者の通行が多い道路に面する部分は、低層部における自然素材の活用や窓・出入口等の開口部の配置の工夫等により、うるおいや賑わいが感じられるように配慮する。 <input type="checkbox"/> 外壁の素材は、汚れや退色に強いものとし、壁面の大部分にわたって光沢のある素材や反射性の高い素材の使用を避ける。

バルコニー等	方針	手摺部は安全・安心に配慮し、建築物等と調和した携帯・意匠に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 本体と形態・仕上げを合わせるか、格子等で存在感を薄める。

屋外階段	方針	建築物本体と調和した形態意匠に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 本体との調和や遮蔽を図る。

緑化	方針	施設の魅力を高めるため、緑化に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 道路境界部では、周辺の樹木・樹林との連続性に配慮する。 <input type="checkbox"/> 屋上緑化や壁面緑化を図る。

• 橋梁、擁壁・護岸類

橋梁	方針	周辺に調和した形態意匠や素材に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 周辺との調和に配慮し、すっきりとしたシンプルな形態・構造とする。 <input type="checkbox"/> 周辺地域の特性に配慮したランドマークとなるような形態構造・色彩とする。 <input type="checkbox"/> 橋の構造を活かした照明を検討する。
	方針	圧迫感等をやわらげるように配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 桁の形状、下部の仕上げ・色彩を工夫する。 <input type="checkbox"/> 橋脚と桁の接合部の処理、配管等のおさまりをすっきりさせる。
	方針	まとまりのある空間づくりに配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 親柱、欄干、照明灯、舗装等を含めた全体のまとまりを図る。 <input type="checkbox"/> 道路空間と連続する橋詰広場や橋上の視点場を確保する。

擁壁・護岸	方針	周辺に調和した形態意匠や素材に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 擁壁・護岸面の過度な表現は避ける。 <input type="checkbox"/> 自然石等を活用し、素材感を表現する。 <input type="checkbox"/> 表面処理を工夫するとともに、地域の特性にあった自然な質感・経年変化の特性のある仕上げにする。
	方針	圧迫感等をやわらげるように配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 法面や擁壁面は可能な限り勾配を緩くしたり、高さを抑える。 <input type="checkbox"/> 形態の分節・分割を図る。 <input type="checkbox"/> 擁壁面や擁壁上部、護岸面の緑化を図る。

• フェンス類、ポール類、設備類

フェンス類	方針	周辺に調和した形態意匠や素材に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 周辺との調和に配慮した素材・色彩を検討し、シンプルなデザインとする。 <input type="checkbox"/> 経年変化を考慮した素材を選定する。 <input type="checkbox"/> 透過性の高いデザインを採用する。 <input type="checkbox"/> 転落防止柵等と植栽を組み合わせる。

ポール類	方針	周辺に調和した形態意匠や素材に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 周辺との調和に配慮した素材・色彩を検討し、シンプルなデザインとする。 <input type="checkbox"/> 経年変化を考慮した素材を選定する。

設備類	方針	周辺に調和した形態意匠や素材に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 駐車場・駐輪場、ゴミ置き場、屋外設備等の付属施設は、周辺からの見え方に配慮した配置とするとともに、周囲の緑化、塀・柵による遮蔽、路面の舗装等により、建築物全体との調和を図る。 <input type="checkbox"/> 周辺との調和に配慮した素材・色彩を検討し、シンプルなデザインとする。 <input type="checkbox"/> 経年変化を考慮した素材を選定する。

• 舗装類、遊具・ストリートファニチャー類、サイン類

舗装類	方針	周辺との調和に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 必要以上に路面が目立つ色彩・舗装パターンを避ける。 <input type="checkbox"/> 周辺に調和した素材・色彩を選定する。 <input type="checkbox"/> 隣接する舗装材との調和を図る。 <input type="checkbox"/> 路面排水や排水溝等は、設置箇所に配慮する。 <input type="checkbox"/> 舗装材で被覆しない部分を計画的に作る。 <input type="checkbox"/> 舗装に周辺地域の要素の取入れを図る。

遊具・ストリートファニチャー類	方針	周辺環境や施設への調和に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 地域性を考慮したデザインの入入れを図る。 <input type="checkbox"/> 建築物やオープンスペースと一体的に計画する。 <input type="checkbox"/> 一連のストリートファニチャーに関連性・共通性を持たせる。
	方針	愛着や魅力を感じさせるデザインに配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 親しみ感や魅力あるデザインとなるように工夫する。 <input type="checkbox"/> 経年変化を考慮した素材を選定する。 <input type="checkbox"/> 照明や緑との組み合わせを工夫する。

サイン類	方針	見やすさとわかりやすさに配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> サイン本体の視認性を高める。 <input type="checkbox"/> 周辺のサイン等との統一感を持たせる。 <input type="checkbox"/> 夜間の見やすさを考慮する。 <input type="checkbox"/> 情報の更新方法についての計画を立てる。
	方針	周辺に調和した形態意匠や素材に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 長期間利用されることを考慮したシンプルな形態とする。 <input type="checkbox"/> 地域性を考慮した色彩・素材を選択する。 <input type="checkbox"/> 経年変化を考慮した素材を選定する。
	方針	統一性や統合性を考慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 可能な限り統合・集約に努める。 <input type="checkbox"/> 他の要素との統一性を図り、一連のサインに関連を持たせる。 <input type="checkbox"/> サインの効能・役割に応じた情報の整理、体系化、配置計画を立てる。

• 樹木類

樹木類	方針	地域特性や周辺との調和に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 周辺の緑とのつながり・連続性を確保する。 <input type="checkbox"/> 水辺の景観とのつながりに配慮する。 <input type="checkbox"/> 周辺との調和に配慮した植栽の配置・規模とする。
	方針	既存のものへの保全・活用に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 既存の樹林地・樹木等の緑を保全・活用する。 <input type="checkbox"/> 地域性を考慮した色彩・素材を選択する。 <input type="checkbox"/> 経年変化を考慮した素材を選定する。
	方針	緑の特性を活かし、維持管理に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 周辺の植生を考慮し、季節の変化を考慮した計画を立てる。 <input type="checkbox"/> 地域のランドマークやシンボルとなるような植栽により空間を印象づける。 <input type="checkbox"/> 植栽の適正な管理を実施する。 <input type="checkbox"/> 圧迫感を与えるものは緑でやわらげ、地域を特徴づける要素への見え方を阻害しないように配慮する。

• 駐車場・駐輪場

駐車場・駐輪場	方針	周辺との調和に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 周辺と調和したデザイン性を持つ目隠し壁等によって遮蔽を行う。 <input type="checkbox"/> 長大な規模とならないように適切に分節・分割を図る。
	方針	緑化に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 緑や自然素材を活用して周囲の修景を図る。

• 色彩

色彩	方針	落ち着いたある色彩を基調とし、周辺との調和に配慮する。また、基調色と強調色の配色による調和に配慮する。
	配慮事項	<input type="checkbox"/> 景観計画に定められた色彩基準に適合させる。 <input type="checkbox"/> 外観の基調となる色彩は、緑を引き立てる落ち着いたあるものとする。 <input type="checkbox"/> 国道464号沿道地区では、外観の基調となる色彩は、周辺の緑と調和し、印西市の顔にふさわしい品格のあるものとする。